



松原 清二医師
在宅療養支援診療所「まつばら
ホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

おーい、母さんあれ
持ってきてくれないか?
はいはい、これですね。
お父さん。
これはサザエさんで良
く見かける夫婦歴何十年
にもなる波平お父さんと
生、

あれあれ、それそれ
おーい、母さんあれ
先生、便がなかなか出
ないんですけど……。
お腹を触ると、腸があ
まり動いていません。
そこで患者さんに私が
お父さん。

下剤は飲んでいますた。
か?
飲んでないですよ。先
薬は、以前がんの骨転移
に対し使用していた黄色
の包装に入った薬でした。
そこで、私が指示した薬
は別の黄色の包装に入っ
た薬であることをお伝え
し、現物も一緒に確認し
ました。

お舟お母さんとの会話で
す。まさしく以心伝心で
す。先日診察の場面でこの
ようなじびがありました。
先生、便がなかなか出
ないんですけど……。
お腹を触ると、腸があ
まり動いていません。
そこで患者さんに私が
お父さん。

下剤は飲んでいますた。
か?
飲んでないですよ。先
薬は、以前がんの骨転移
に対し使用していた黄色
の包装に入った薬でした。
そこで、私が指示した薬
は別の黄色の包装に入っ
た薬であることをお伝え
し、現物も一緒に確認し
ました。

お舟お母さんとの会話で

下剤って黄色い薬ですよ

本来であれば波平さん、

お舟さんのようにやり取

りがければ良いのです

が、医療の場合は今回の

状況でも分かるように

お互いの思い込みが治療

の停滞にも繋がります。

在宅では、目の前で患者

さんに的確な話をするこ

とが大切だと改めて思わ

れる一例でした。

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応：午前9:00～午後6:00
■定休日：土日(祝日は診療)
■訪問地域：西東京市、東久留米、
新座・練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索
